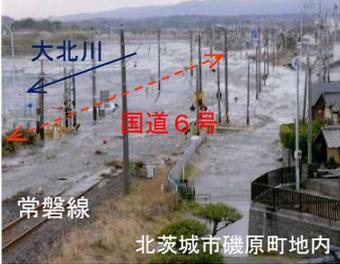


災害時の安全確保 + 周辺地域の活性化 + 利便性の向上

— 県道里根神岡上線バイパス全線開通 (H29.6) —

災害時の安全確保

東日本大震災における国道6号の状況 (平成23年3月11日)



国道6号の浸水状況



津波による建物の倒壊状況

本路線の一部区間が東日本大震災の翌日に開通し、国道6号の代替ルートとして、常磐自動車道北茨城ICから大津漁港周辺などの被災地への支援物資を輸送するルートとして役立ちました！

【主な整備効果】

- ・国道6号 (緊急輸送道路) の代替道路
- ・交通の利便性向上
- ・周辺地域の活性化



周辺地域の活性化と利便性の向上



北茨城市民病院からいわき方面を望む

整備前(旧道) 幅員5m

道幅が狭いから
こわいよお～



すれ違いが
できなくて困ったわい



整備後(バイパス) 幅員13m

安心して歩けるよう
になってよかった



とても走りやすい
道になったね



周辺地域の活性化が期待！

- 第二次医療機関『北茨城市民病院』へのアクセスが向上したことにより、**周辺地域の活性化が期待されます！**



国道6号を補完する新たな南北軸を形成！

- 現在整備が進められている国道6号勿来バイパスと接続し、**県北地域の新たな南北軸を形成します！**

